

令和6年度 第2回学校運営協議会 議事録
【学校評価部会・キャリア部会・地域連携部会】

1 日 時 令和6年 11月7日（木曜日）15時45分～16時30分

2 会 場 県立横浜清陵高等学校 会議室（大、小）

3 出席者 学校運営協議会委員 6名（3名欠席）
県立横浜清陵高等学校教職員 11名

4 協議内容

（1）学校評価部会（全体会）

1. 今年度の取組について（校長）

- ・ 9月 三者面談全校実施、外部模試
- ・ 10月 清陵祭、学校説明会、球技大会
⇒学校行事において各実行委員が自分たちで考えや意見を持って行動できるようになってきている。
- ・ 野球部ベスト8
- ・ 神奈川県主催ハイスクール議会 生徒参加予定
- ・ 探究リフレクション大会 4年連続参加
⇒外部での様々な活動を生徒同士が共有できる場の設定を検討したい。
- ・ 3年次 進路活動
- ・ 12月 2年次修学旅行予定

2. 各グループ業務内容の中間報告（事務局）

○企画広報グループより

- ・ 中学生保護者対象のバスツアーが復活した。部員が1名しかいない部活動にも顧問が配置されている点にも好感を持ってもらえた様子。清陵ナビについては、月2回以上の情報発信が行えた。

○学習支援グループより

- ・引き続き授業改善に力を入れていきたい。また、ICT 機器について生徒が使うというより教員が使っているというのが現状なので、どのように生徒に活用させていくかが課題。

○キャリアガイダンスグループより

- ・指定校推薦入試希望者は昨年度より 10 名増えた。公募制希望者も 22 名と、例年より増えている。1, 2 年次の英検合格率は 2 級 14%、準 2 級 24%。今後、合格率を目標 50% に上げていきたい。2 年次対象に、大学の講師 24 名による出張授業を新たに実施した。生徒に好評だったので 12 月に 1 年次対象にも実施予定。

○活動支援グループ

- ・知事との対話に参加するなど、生徒が外部に出る機会が少しずつ増えている。
- ・清陵祭では、中庭の飾りつけや花火の打上げといった新しい取組ができた。
- ・部活動体験について、夏と秋に 1 回ずつ、計 2 回の実施ができた。
- ・地域貢献活動（構内周辺の清掃活動）は今年度より全校で一斉実施。
- ・生徒が外に出て活動することが大事ではあるが、その一方で教員が長時間労働になりやすいグループでもあるので課題と感じている。

○管理運営グループ

- ・事故防止研修を職員会議の前に毎回実施している。
- ・校内美化活動として不要なものを適宜処分中。来年度は職員室のレイアウトが大幅リニューアルする予定。
- ・防災訓練について、炎天下でどのように実施するか検討する必要がある。
- ・式典（卒業式）に向けての準備をしている。

【意見】

- ・授業評価の集計結果の資料が用意されているとよかった。評価が高いのは良いが、教科によってばらつきがあるのであれば、全体で上げる必要がある。（委員）
- ・ちょっとしたことで心が折れてやめてしまう子どもが増えてきたことに対して危機がある。高校ではどのような取組をしているのか。（委員）
⇒サポートドックを実施し、プッシュ型面談でスクールカウンセラーに繋げている。
また、不登校の生徒への学びの保証が全県で実施されている。授業での取組は活発だが、ルールの守れない生徒への地道な声掛けは教員間で足並みを揃える必要がある。
また、遅刻や欠席の多い生徒に対しては家庭との連携が不可欠である。
- ・1, 2 年次対象英検全員実施はありがたい。目標の合格率 50% を目指し、英語科としても頑張ってもらいたい。（委員）

- ・ 清陵祭の来場者数およびその内訳は。（委員）
⇒3,450 人が来校した。来場者数が多いため内訳の集計はできていない。不審者の取り締まりが課題となっている。制限をかけすぎずに、地域住民に開かれた清陵祭を目指すために、どのような不審者対策をして生徒の安心安全を守れるか検討していく必要がある。
(事務局)
- ・ 清陵祭来場者の仕分け（地域住民と他校の生徒、住民など）は。（委員）
⇒来場者数が多いので対応が難しくできていない。受付を無人にして QR コードで対応するなどということは、防犯の観点から現状では難しいと考えている。（事務局）

（2）キャリア部会

○本校におけるキャリア教育の課題、改善点についての協議

- ・ 1, 2 年次対象英検一斉受験実施。個人のスコアが出るのでモチベーションに繋がる。
- ・ 外部模試は Web 出願に変更し、受験した当日に結果がわかるようになった。
- ・ 3 年次の進路活動において、公募制や総合型で受験する生徒が増えた。早く進路を決めたいという心理状況が影響しているのか、併願や総合型を受け続けている。公募制や総合型で受験した生徒の合格率を調べたい。成績優秀者が 40%程度残っているので、一般入試の結果に期待したい。また、探究をやっているのをそれを入試に活かしたい生徒もいる。
- ・ 進路先とのミスマッチを減らすため、インターンシップは次年度も継続して行いたい。

（3）地域連携部会

- ・ 部活動体験入部を夏と秋に 1 回ずつ、計 2 回の実施に変更した。
- ・ 生徒を外部に行かせるハードルを下げていきたい。生徒が発表する機会を増やすことで自己肯定感を上げさせ、他の生徒への影響を広げていきたい。

【意見】

- ・ 今回生徒たちが作り上げた演奏会ができてとても良かったので、今後も清陵高校吹奏楽部と保育園との連携を取っていきたい。（委員）
- ・ 色々な取組をすることで、教員への負担が増えている印象。（委員）

（4）学校評価部会（全体会）

- ・ キャリア部会および地域連携部会からそれぞれ内容報告（（2）（3）参照）。
- ・ 校長からの挨拶と今後の予定を確認した後に終了

令和6年度 第2回学校運営協議会・評価部会 名簿（敬称略）

【学校運営協議会】

	氏名	所属	キャリア部会	地域連携部会	出欠
会長	岡明 秀忠	明治学院大学 文学部 教授	○		出
副会長	田邊 克彦	元 神奈川県総合教育センター 所長	○		出
1	木川 英美	清水ヶ丘保育園 園長		○	出
2	平戸 明彦	横浜清陵高等学校 キャリアアドバイザー（元河合塾校舎長）	○		出
3	熊切 隆	横浜市立蒔田中学校 校長		○	欠
4	根岸 光司	太田地区町内連合会 副会長		○	出
5	相川慎一郎	神奈川県立横浜清陵高等学校PTA会長		○	欠
6	金子 博美	横浜市立南太田小学校 校長		○	欠
7	山口 修司	神奈川県立横浜清陵高等学校 校長	○		出

【事務局】

1	副校長	吉田 淳一	
2	教頭	小澤 美紀	
3	事務長	長谷川 浩	
4	総括教諭	宮崎 康太	企画広報グループGL
5	〃	秋月 和宏	学習支援グループGL
6	〃	高橋 伸行	キャリアガイダンスグループGL
7	〃	林 玲子	活動支援グループGL
8	〃	市口 勇志	生徒支援グループGL
9	〃	中西 宏光	管理運営グループGL